## シート(スライド)作成の注意事項

- ▶ シートに筋書きを加える 説明の流れ(背景 → 問題点 → 解決策)
- ▶ ルール数の増加による遅延が一番の問題 このことが中間発表では全然伝わっていない
- ► Run-Based Trie の位置づけ Hicuts や Grouper などとどう違うのか → ルール数に依存しない
- ▶ 質疑応答は相手の答えてほしいように答える(厳密はダメ) 田中研以外の人間が Trie といったら Run-Based Trie のことではない(当たり前).

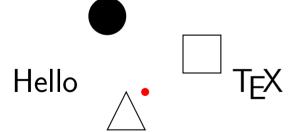
## TikZ test

しかし、不要なパス、ノードが大量発生。

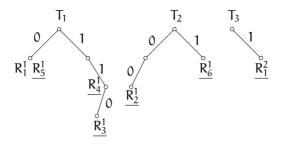
⇒ 決定木の枝刈りが必要しかし、不要なパス、ノードが大量発生

⇒ 決定木の枝刈りが必要しかし、不要なパス、ノードが大量発生

⇒ 決定木の枝刈りが必要



## 集合族(Simple Search での T<sub>i</sub> の辿り方の場合分け)



$$S_{1} = \{\{R_{1}^{1}, \underline{R_{5}^{1}}\}, \{\underline{R_{4}^{1}}\}, \{\underline{R_{3}^{1}}, \underline{R_{4}^{1}}\}, \varphi\}$$

$$S_{2} = \{\{\underline{R_{2}^{1}}\}, \{\underline{R_{6}^{1}}\}, \varphi\}$$

$$S_{3} = \{\{R_{1}^{2}\}, \varphi\}$$

集合族の直積  $|S_1| imes |S_2| imes |S_3|$  を取り、対応するルールを付与連の合致の組み合わせを全て列挙

## 決定木によりパケット 111 を探索

